

神室連峰

鉤掛森～黒森～水晶森

田村他

【日時】 2014年2月8日（土）～2014年2月10日（月）

【メンバー】 L田村、佐貫、松本、棚橋

2/8 曇り時々晴れ、ときどき雪がちらつく

今回は冬合宿の延長で、2月に連休にどこかへ行こうと話が早々に出ていた。行き先は神室連峰の前神室山から先にある鉤掛森～黒森～水晶森という「森」をつなぐ旅である。田村さん、棚橋さん、佐貫さんが2年前の冬合宿で計画していたところだったが、そのときに残した部分でもあった。

朝、6時20分ごろに新庄駅に着いた。駅の待合室で準備をしていると、テレビでは関東地方の雪の様子が繰り返しアナウンスされている。「都内ではいま積雪1cmです！」と言うアナウンサーに、地元のひとは失笑。そりゃそうだろうな、と思う。



駅前からタクシーに乗り込み、グリーンバレー神室方面へ向かう。新潟は例年よりも雪が少ないが、ここ新庄でも少ないと運転手さんは言う。予定していた取付はスキー場手前の集落で、夏道の登山口があるようだが、田村さんが「植林が多いし、おもしろくなさそうだから、スキー場から行きましょう」と外を眺めながら言った。

スキー場でリフトを利用するのかと思ったが、リフトの運行が9時、今は8時30分前。待つのももったいないので、スキー場脇から登ることにする。リフト小屋から管理人さんが出てきて、「山に登るんです。下山は湯沢です」と話すと、「秋田へ？ いいですねあ。気をつけて。遭難したら連絡ください」とまで言ってくださった。ありがたいが、遭難はすまい（酸欠も）と固く心に誓う。

人の少ないスキー場脇を登り、鉤掛森への尾根に取り付く。東京の雪騒ぎとは別世界の穏やかな神室連峰。この天気が続けばいいなあ、と思いながら歩を進める。昨夜は高速バスだったので、やや疲れが残っている。736ピークの先から東に進路を変える。北東に入る尾根がわかりにくい。鉤掛森を越えて、檜木森へ。予定は檜木森先までだが、もうこのへんでもいいのではないかと悪魔が耳元でささやく。一方、熟睡できたという棚橋さんは順調に高度を上げていく。途中、鳥海山がすっきりと見えた。日本海側は晴れているようだ。

檜木森手前から本日の物件探しが始まる。一帯はブナ森で、枝には霧氷がついて、白い縄のれんが延々と続いているよう。まだ早いので、予定どおり檜木森を越えた先で泊ろうということになる。ピークからふかふかな雪尾根を下っていると、パウダーを滑るってこういうことかな？とスキーはしなないが、なんとなくわかるような気がした。

890m地点でよい物件を見つけた田村さんと佐貫さんが「ここでいいよね」と言ったのを聞くと、私はそそくさとスコップを持ち、整地にとりかかった。時間はまだ、12時40分だった。(松本)



2/9 小雪

昨日は早い時間からの宴会となった。下山後に迎えてくれるであろう一升瓶の森を思っ

てか、田村さんも松本さんも山の中では本気を出さないつもりようだ。私は高速バスでの座り方が良くなかったのか腰痛になってしまったが、一晩寝たら少しマシになったような気がする。

その名の通り森から森へと歩みを進める。昨日もそうだったがフカフカのラッセルになることはなく、スノーシューを履いているとせいぜい足首から脛くらいまでしか沈まない。その下には一度気温が上がったのか、カリカリの層があるようで、尾根が狭く片斜面のトラバースはスリップしないよう注意して歩かなければならない。



朝方は少し舞う程度だった雪がやや強くなる頃、黒森に到着。名前に似つかわしく山頂らしくない場所だ。少しガスが出て風も強まってきたので、水晶森から北東尾根を下降し、途中で泊まるにはどうかな〜と相談。水晶森を往復してから出穴森へと北上して東側の尾根を下ること

にした。最初は勿体無いほどズンズン下り、古い峠があったとされる鞍部を過ぎると「反射板」という小さな標識があるのに気付く。金城山の下のほうにあるようなやつかな?と思いつながら歩いていると、ガスの中に突然野球場のバックネットと見間違えそうな大きな板が向い合せて2枚立っていた。工事も随分大がかりだったのではないだろうか。



もう少しで水晶森というあたりで次第に斜面がクラストしてきて、スノーシューではぎりぎりな感じだったが無理やり登り、まあここが水晶森かな?という場所に到達した。前神室までつながればベストだったがとりあえず「森」巡りは叶ったので、来た道に戻る。黒森につけた赤布を回収し、北へ続く尾根に踏み込んだ。

するとそこには別天地が広がっていた。ここまでの尾根も静かな森だったが、黒森の北の広い尾根上は一段と太い山毛櫸の純林で、一切の人工物がなく麓の集落も見えないという最高の景色だった。雪の日でもこれだけ綺麗なら、晴れた日はどれ

ほどだろう。新緑の季節も素晴らしいに違いない。全員「ここしかないね」と一致し、今日も早めの時間ではあったが行動終了となった。両巨頭の肝臓は今日も暖機運転だ。(佐貫)

2/10 曇り時々晴れ



夜が明けるまではそれなりに強風が吹いていたと思うが、起きた時は風も降雪も無い、静かな朝だった。今朝もテント内側の霜取りから始まったが、霜の量が多く、昨日のように一掃とはいかなかった。朝食を摂り、予定通りゆっくり目に出発する。それにしてもこの辺りは本当にブナが綺麗な「森」だ。天気が良いので気分も良く、また一面を覆った雪が美しい景色をより一層引き上げてい

るようだ。さっさと下りてしまうのでは勿体無いので、出穴森までの行程も自然と休み休みになる。出穴森からは北東尾根にて、薄久内の集落に直接下りるルートを取る。こちらの尾根はミズナラやアカマツの大木も目立ち、別の季節にも訪れたいなってしまう。尾根の下部はやや判り辛そうだと思っていたが、田村リーダーの確実な読図で間違ふことは無かった。薄久内の集落からは除雪されている舗装路を北上し、国道と合流する新川井橋の辺りまで進む。ここで迎えにきて下さった田村さんのお知り合いと、無事落ち合うことができた。そして秋の宮温泉にて、更に田村さんのご友人である「秘湯山岳会の面々」とも合流(佐貫と私も2年ぶりの再会)し、ディープな温泉宿で交流&打ち上げで締め括る。とても豊かな山行だった。(棚橋)



【行程】

2/8 グリーンバレー神室スキー場(8:29)～スキー場トップ(9:05)～鉤掛森(11:14)～檜木森(12:32)～Co890m付近C1(12:41)

2/9 C1(7:23)～黒森(9:01)～水晶森(11:27)～黒森(13:10)～Co950m付近C2(13:29)

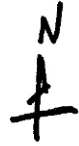
2/10 C2(8:22)～出穴森(9:24/31)～薄久内集落(11:21)～新川井橋(11:47)

【地図】 神室山、羽後川井

2014. 2. 8 ~ 10

神室連峰 /

鉤掛森 ~ 出穴森



△ 田村. 佐賀. 松本. 棚橋

